

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 41

春号

平成 26 年
(2014)

環境ひらかた



自然災害と温暖化 つながりに 理解が深まりました!!

ひらかたエコフォーラム 2014



今年も 2 月 1 日(土)に「ひらかたエコフォーラム2014」をメセナひらかた会館で開催しました。午前中は、枚方市環境表彰、緑のカーテンコンテスト表彰、学校園環境表彰があり、初その他団体とのコラボでシンポジウム「治水と河川整備」を行いました。午後は、「多発する自然災害にどう備えるか」をテーマにパネルディスカッションを行い、自然災害への備え、災害が起こりにくい社会、環境をどう作り上げていくのかなど、環境問題と自然災害について皆さんと一緒に考えました。節電コンテストやエコチェックDAYの結果発表も行い、試食や自転車発電体験、エコドライブシュミレーターでエコドライブの体験もしました。ロビーでは企業や団体による環境の取り組み展示やクラフト教室も無料で開催、その他、恒例となったクイズ大会や、ブースラリーなど、家族、お友達連れで参加し楽しみながら、環境について考える一日となりました。

2 面に続く



*****目次*****

エコフォーラム2014報告	P 1
エコフォーラム 2014 報告	P 2・3
部会紹介	P 4・5
お知らせ、節電コンテスト報告	P 6
環境トピックス VOL. 7	P 7
それゆけ! エコ企業「ネットトヨタ」	P 8

初めてのコラボ シンポジウムを開催

「治水と河川整備」

in ひらかたエコフォーラム 2014



初のコラボ「BYネット」と共催のシンポジウム 成功裏に終わる

第1部の基調講演では、講師の京都大学防災研究所の竹林洋史准教授から、「京都・滋賀水害の特徴と気候変動への心構え」をテーマに、昨今のゲリラ豪雨や台風といった私たちの暮らしに大きな影響をもたらす「異常気象」と「地球温暖化」は、どのように関係しているのか、また「嵐山の渡月橋」や「水没する駅舎」など、テレビが伝える水害の映像は見たけれど、実際はどうだったのかを、お話いただきました。



第2部では、「私たちはどう河川と関わるのか」をテーマにワークショップを開催しました。河川整備や構造物の管理は必要で大切なことであることは言うまでもありませんが、河川の掃除、障害物などの漂流物の除去も大きな意味を持っています。川と暮らしの関係性が希薄化してきた現代、私たちが川を見なくなったことが洪水の被害を大きくしている部分もあるということなど、川との関わり方について活発に意見交流が行われました。また、その中で、川の清掃活動を行う団体の実態調査報告もありました。

◆◆ひらかたエコフォーラム 2014 受賞者一覧◆◆

【枚方市環境表彰】

中楠葉自治会 / ポエム北山通り / 御殿山神社、JA FS（アジア協会アジア友の会）北河内緑とふれあう会
石けんを使いましょう枚方市民の会 / 長尾グリーンポリス自治会 / 長尾サニーハウス自治会 / 西長尾自治会

【緑のカーテンコンテスト】

〔企業・学校部門〕

最優秀賞 西牧野小学校グリーンキーパー

優秀賞 おおさかパルコープ西くずは店 / 枚方信用金庫

〔個人部門〕

最優秀賞 北谷 静子さん

優秀賞 大橋 健一さん / 奥村 由紀子さん



ひらかたエコフォーラム 2014

終日、各ブースでは環境の分野で活動をしている団体や、事業者等の取り組みが紹介されました。ブースラリーでクイズに答えたり、楽しみながら環境について、学び知識を深めました。



クラフト教室

パネルディスカッション

「多発する自然災害にどう備えるか」

私たちの住む枚方でも、かつて経験したことのないような被害が起きています。



地球温暖化（季節変動）がゲリラ豪雨、集中豪雨、大型台風や竜巻等の発生と関係しているか等、参加者と一緒に考えました。



自転車発電コーナー



展示コーナー



防災食品 試食
温めず食べられるカレー

◆◆ひらかたエコフォーラム 2014 受賞者一覧◆◆

【大型太陽光発電施設愛称コンテスト】

- | | |
|------|---|
| 最優秀賞 | 杉江 由吏さん（枚方小4年） |
| 優秀賞 | 中西 陸さん（菅原小4年）/林 樹奈さん（樟葉小3年）/岡 真央さん（伊加賀小3年）
宗實 日菜さん（伊加賀小4年）/法月 明司さん（一般） |

【学校園環境表彰】

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 市長賞 | 川越小学校/桜丘北小学校/船橋小学校/山田中学校/桜丘幼稚園 |
| 教育委員会賞 | 招提小学校/平野小学校/長尾小学校/津田中学校/樟葉幼稚園 |



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育サポート部会

ESDのキーワード「創造」と「創出」？！

みなさんは、このロゴマークを見かけたことがありますか。

2002年、ヨハネスブルグで開催された、持続可能な開発に関する世界首脳会議で、日本政府が提唱した“ESDの10年”が、第57回国連総会で採択され、ユネスコがその推進機関となって活動を続けてきました。その活動の最終年度の締めくくりとして、「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」が2014年11月10日～12日に名古屋市で開かれるのですが、右はそのロゴマークなのです。

さて、私たち環境教育サポート部会でも、この全体会議の開催に合わせ、改めてESDにおける環境教育について見直しを行いたいと思っています。

ところで、持続可能な社会の創造には、環境を含み、貧困、人権、平和、開発など、現代社会の様々な課題に、身近なところから取り組むことが必要ですが、そのための教育は、どのように行っていくことが望ましいのでしょうか。「環境の保全」というときには「環境の創出」も含まれると考えます。この「創出」に加え「創造」の2つのキーワードが、環境教育を見直すヒントを与えてくれる気がします。従来、環境を考えると、「保全」という視点で捉えがちでしたが、ESDの考え方にたった時、この2つのキーワードである「創出」と「創造」が大きな意味を持つてくると思います。みなさんはどう思われますか。



公共交通部会

レンタサイクルがリニューアル！

牧野東自転車駐輪場で展開しているレンタサイクルは、営業の方々に人気で、大阪市内からも電車でやってきて、日々活用していただいています。小回りがきき使い勝手が大変良いようで地域住民にとっても、環境にとっても、クルマでうろつかるよりうーんといいいですね。

これまで枚方エコサイクルさんの整備により、快適な乗り心地でしたが、やはり、悪路によるパンクは避けられないということで、メンテナンスに手間をかけて大事にしていた自転車を思い切って全てノーパンクタイヤに変えました。

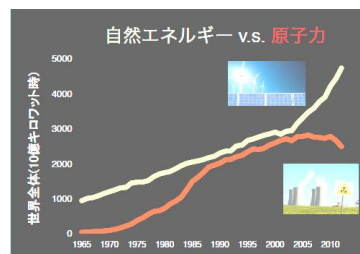
牧野に行かれた際には、一度使ってみてください！



日本の自然エネルギー普及率の実態は！

3.11以降、各地で地域エネルギーが立ち上がっています。“地域エネルギー” ちょっと耳慣れない言葉ですが、地域で消費するエネルギーは地域で、自分たちで生産しようというものです。そのために自分たちの手で風力や太陽光の発電所を作り、原発に依存しなくてもやっていけるように、自然エネルギーを自分たちの手で増やしていこうと各地で進められています。そこには脱原発への熱い思いが感じられます。

ところで、エネルギーをどのように生産しているか見てみると、世界的にはすでに自然エネルギーが原子力を凌駕しています。（グラフ参照）世界の原子力の発電量のピークは2006年。3.11より遙か前です。欧州をみると、水力を除いた自然エネルギーの比率は12年の推計値でスペインが23%、ドイツが19%、英国が10%、米国でも5%以上を占めています。ところが日本は12年度で水力を除く自然エネルギーの電力に占める割合はわずか1.6%なのです。欧州とは桁違いに少ないのです。また、「誰が自然エネルギーを所有するのか」がヨーロッパではとても重要で、ドイツでもデンマークでも地域が担い手です。地域所有の自然エネルギーは地域にお金と雇用を生みます。リーマンショック、欧州金融危機をまたいで成長している分野は世界で唯一、自然エネルギーだけです。このように、エネルギーを取り巻く問題はいろいろあり、当部会で、枚方で、何ができるか模索しています。



まちづくり部会



「歴史ウォーキング」でテクテク枚方探訪!!

まちづくり部会では、広く私たちの住む枚方市の歴史・文化遺産を知り、また知ってもらうために「歴史ウォーキング」を行なっています。11月23日(土)、3回目の開催となりました。

快晴に恵まれ、船橋本町にある二ノ宮神社を出発し、敬応寺→正念寺→九頭神麿寺後東公園→片埜神社→坂公園までの約5kmの行程をボランティアガイドのていねいな説明を受けながら、2時間あまりテクテクとウォーキングを楽しみました。今回訪れた場所も歴史的に価値のあるものや珍しいものが数多くあり、普段何気なく見ていたものが、その歴史や由来を知ることによって違う表情を見えます。例えば、敬応寺がある招提地区は戦国時代には寺内町（じないまち）となっており、集落全体が境内とみなされて年貢が免除されていたのだそうです。

次回も興味深いコースを選び、参加者の皆さんに楽しく学んでもらえるような計画をたてていきますので、私たちと一緒に健康的なウォーキングで枚方の歴史探訪を楽しみませんか。





お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

第17回バス!のってスタンプラリー～桜めぐり～を実施します

日 時 平成26年4月5日(土)
 集合場所 枚方市役所前 岡東中央公園(京阪枚方市駅下車)
 受付 8:30～ 9:00～「バスとまちのお話」大阪大学大学院松村暢彦准教授
 9:30 スタート 12:30～ 順次帰着アンケートに回答後、ガラポン 16:00 終了
 定 員 150名 参加無料(別途交通費が必要) ※「京阪バス1dayチケット」が便利です
 問い合わせ 環境ネットワーク会議事務局まで



平成26年度「枚方市内のすてきな場所と京阪電車・京阪バスの写真」募集!

あなたが撮影した「枚方市内のすてきな場所と京阪電車・京阪バスの写真」を応募しませんか?
 作品は、ひらかた環境ネットワーク会議のwebサイトで紹介するほか、枚方市駅で「枚方市内のすてきな場所と京阪電車・京阪バスの写真」として紹介、また、チラシ・ポスターに使用させていただくこともありますのでご了承ください。

【募集方法】e-mailで hirakatakoutuu@gmail.com 宛に(詳細はwebサイトをご参照ください)

平成25年度「ひらかた夏の節電コンテスト」取り組み結果報告

■応募状況：応募用紙配布総数 20,000枚
 総応募枚数 107枚

節電に特効薬なし!地道な努力で!!

第2回目の応募者数は前回より大幅に減少しました。昨年度、節電に取り組んだ人にとって、昨年以上に削減することが難しかったことを物語っています。本取り組みの主旨「削減できなくても節電に取り組む」という事が重要で、その趣旨が十分伝わっていなかったことも応募者が少なかった理由と思われます。とはいえ、温暖化問題、エネルギーの在り様を考えるなど、節電に取り組む意味の気づきがあり、節電は数字として表れ、効果の見える温暖化対策行動だと実感してもらうことが出来ました。

■消費電力と削減率

*各月及び3カ月連続の応募者の削減率ベスト3

7月	1位 48.2%	2位 46.9%	3位 40.3%
8月	1位 50.5%	2位 45.9%	3位 44.3%
9月	1位 58.0%	2位 40.9%	3位 35.2%
3カ月連続	1位 46.9%	2位 40.3%	3位 39.1%

*各月及び3カ月連続の応募者の総消費電力と削減率

		7月	8月	9月	3カ月連続
応募者数		82名	78名	79名	56名
消費電力 kwh	前年	22495	29956	28322	58779
	今年	19963	26743	25601	52836
	削減量	2532	3213	2721	5943
	削減率	11.3%	10.7%	9.6%	10.1%



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「江戸の暮らしに学ぶ」「地熱発電 15 年ぶりに新設」です。

◆ 江戸の暮らしに学ぶ

今、江戸の暮らしが話題になっている。江戸時代は太陽のエネルギーを中心に、限りある資源を有効に使い、衣食住のあらゆる面でリサイクル・リユースが行われていた循環型社会だった。例えば、着物。成長に合わせ仕立て直しをする、傷めば繕って繰り返し使う。着られなくなれば、寝間着やおむつ、雑巾に最終的にはかまどやお風呂の燃料となる。その灰は畑の肥料などとして使い、次々に形を変えて再利用され徹底的に使い尽くされ、一切無駄にされなかった。紙もたくさん使われたが、和紙づくりは、コウゾやミツマタなどその年に伸びた枝が原料で、今の紙のように木を幹ごと切るということはなく、環境にもやさしかった。

モノが豊富にない時代、すべては手作りで材料は植物や土など天然素材で手間ひまかけて作られ、壊れたら修理をしてくり返し使う。古くなれば用途を変え工夫して大事に使っていた。鍋や傘などの修理は専門職人が回るなど商業としてなりたっていた。

限りある資源の中で「繰り返し使う」「物を捨てない」「みんなで使う」というエコの精神が浸透していた“質素な生活だがエコで賢い生活術で心豊かに暮らし”そんな江戸の暮らしから学ぶことがたくさんある筈だ。

資源やエネルギーについて、消費者がもっと声を上げるべきではないだろうか。

◆ 地熱発電 15 年ぶりに新設

地中に溜まった熱水と蒸気の力で電気を作る地熱発電所が、国内で 15 年ぶりに熊本県で新設され、計画ラッシュが起きている。地熱発電は、地中深くまで井戸を掘削し、噴き上がる蒸気や熱でタービンを回転させて発電する方法で、再生可能エネルギーの中でも太陽光や風力と異なり気象条件を問わず、安定した発電量を得られる。火山国日本の地熱埋蔵量は世界 3 位、原発 23 基に相当する。原発寿命は 40 年といわれるが、地熱発電所は半永久的に動かすことができる。

今まで、地熱発電の設立が進まなかった理由の一つに、発電所の候補地の多くが国立公園、国立公園に指定されていることがあった。環境庁は 2012 年には国立公園内の開発工事届出が不要になるなど、規制緩和も進み、小規模地熱発電の稼働に向け調査、計画が始められている。

低コストの再生可能エネルギー、気候に左右されず安定した供給可能な地熱は日本の財産だ。



それゆけエコ企業!!

地球温暖化防止に積極的に取り組んでおられる元気な事業者や団体さんを紹介するコーナーです。今回は「ネットヨタ」さんです！

車社会！車と共存できる社会のために



街にあふれるたくさんの車。温暖化の大きな原因であるCO₂の排出源として大きな比重を占めているという問題はあるものの、現代社会において車は不可欠です。そこで、環境の取り組みとして地域で美化活動や里山活動等に取り組んでおられるネットヨタ新大阪㈱さんを訪ね、温暖化の問題に対する取り組みをお聞きしてきました。

自動車から出るCO₂が“ゼロ”ということでは、電気自動車があることは周知のことです。また、ガソリンと電気との併用によりCO₂を削減できるハイブリット車をいち早く世に送り出したのがトヨタでした。その為、ハイブリッドカーの推販も行っています。そしてもう一つ、力を入れておられるのが「エコドライブの普及の取り組み」なのです。電気自動車やハイブリット車が増えてきたとはいえ、主流はまだガソリン車です。そのガソリン車から出るCO₂をできるだけ減らすためにはエコドライブがお勧めと、いろいろな機会を捉えてはエコドライブ体験や講習を行っておられるとのことでした。

実際エコドライブをした場合とそうでない場合では、20%以上も差が出るそうです。車の利用頻度の高い私は“う～ん、気を付けないと”と改めて決意させられました。

車を運転される皆さんは、ぜひ一度エコドライブを体験されてはいかがでしょうかでしょう。

環境ネット事務局には、
エコドライブシュミレーター
があります！
体験にお越しください！



ネットヨタ新大阪株式会社

住所 大阪府枚方市池之宮 1-24-15

TEL:072-847-6751 FAX:072-847-6783

「それゆけエコ企業!!」は、最終回です。次回から新シリーズがスタートします。お楽しみに！

ひとこと

10年一昔と言いますが、ちょうど一昔前の平成16年2月15日に、ひらかた環境ネットワーク会議は産声を上げました。人は生まれる前の十月十日をお母さんのお腹の羊水の中で育ちますが、環境ネットワーク会議は、準備会という羊水で育ち産声を上げたのです。

それから10年、経過した年月にふさわしく成長しているでしょうか。今回の会報誌も「なんとか無事に期日に間に合った～」と、ホッとしているようではまだまだかなー…などと思ってしまう。

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第41号

平成26年4月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kannkyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子